

「クロハネシロヒゲナガ」

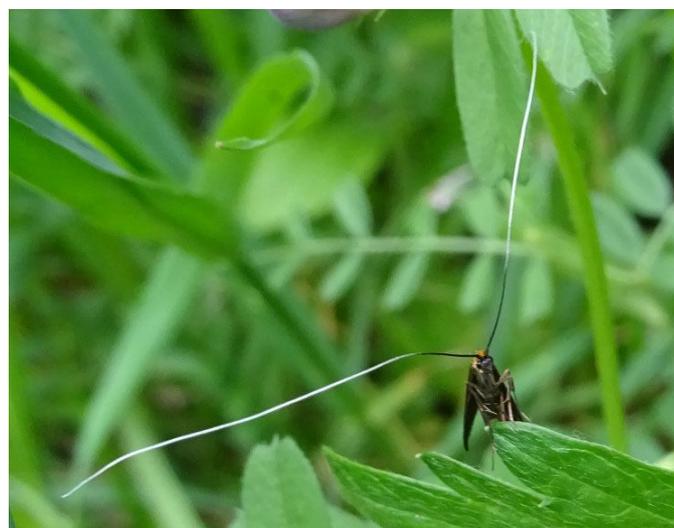
お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka



触角が異常に長いこともあって、飛ぶのは苦手なようだ。フワフワと(というよりも「フラフラと」)飛んでいるので、素手で簡単に捕獲できる。



それにしても触角が長い。体長(15mm程度)の3倍以上ある。触角が長いのは雄だけのようだ。バラ科などの花の蜜を好むらしい。

今の時期、大学構内のテニスコート裏の空き地に、不思議な虫が大量に発生する。黒っぽい小さな体に、白くて異常に長い触角を持ち、カラスノエンドウの葉で休んだり、ふわふわと飛ぶ姿が見られる。最初はこの不思議な生き物の名称がわからなかった。クラスー昆虫に詳しい男児ですら、ガかチョウかバッタかすら、判別できなかった。しかし、インターネットの威力はすばらしい。カラスノエンドウ 黒い小さな虫 異常に長く白い触角 検索 とすると「クロハネシロヒゲナガ」という昆虫だとわかった。



クロハネシロヒゲナガ *Nemophora albiantennella*

「黒翅白髭長」という意味だ。異常に長い触角を「ヒゲ」と見立てている。実に特徴そのままの和名だ。ヒゲナガガ科という分類群に属する、ガの一種である。

近づいてよく観察すると、背と翅に不思議なグラデーションの金属光沢があり、非常に美しい。幼虫は、ネズミムギ、ホソムギなど、どこにでもあるイネ科の雑草を食草とする。卵もよく探せば見つかるらしい。一度、卵から育ててみたいと思っている。